|  |  |
| --- | --- |
| 都道府県 | しゅうかく量(㎏) |
| 青森 | ４８８１０００００ |
| 長野 | １９３５０００００ |
| 岩手 | ６５１０００００ |
| 山形 | ５０１０００００ |
| 秋田 | ４３７０００００ |

≪学習問題≫

右の表は，日本のりんごのしゅう

かく量を調べたものです。

これをぼうグラフに表してみま

しょう。

また，表したぼうグラフからわか

ることをよみとりましょう。

①本時を構想する上でポイントとなる素地

○問題解決のための知識・技能

・四捨五入による概数の表し方を理解している。

○既習とつなぐ見方・考え方

・棒グラフをかく時に，1目盛りの大きさを決める学習をしている。

教材研究ノート№4-A-8

≪定着・活用問題≫

授業計画･実施記録

主眼

≪学習問題≫

②見通し: グラフの1目盛りは何㎏なのかな。

→グラフの1目盛りは1000万㎏だから，リンゴの収穫量を千万の位までの概数にすればよさそうだ

②学習課題:リンゴの収穫量を，百万の位を四捨五入して千万の位までの概数にして，棒グラフに表そう。また，表した棒グラフからわかることをよみとろう。

１　課題とまとめを一体のものとしてとらえるには

③個人追究:収穫量を千万の位までの概数にしてグラフに表し，分かることをよみとる。

④共同追究前半（解法の比較検討）

「概数に表すと，どんな値になるかな？」

→「青森はおよそ4億9千万，長野はおよそ1億9千万，…。」

→「青森は長野の倍の長さ。山形・秋田はほとんど同じ。」

④共同追究後半（思考を深める）

「細かな値と概数とでは，どちらが比較するのに便利かな？」

→「各県のリンゴの収穫量を比較できればいいのだから，細かな値は関係ない。もともとの表の値も概数だから，さらに概数にしているだけだ。」

「目的に応じて，概数を使うと便利だ。」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

⑤まとめ（児童生徒の言葉で）

・グラフ用紙に応じて，1目盛りの大きさに目を付けて，概数にすればグラフがかける。

・概数にした方が，細かな値に目がいかなくて比較しやすい。

⑥定着･活用問題

右の表は，長野県の主な市の人口を

調べたものです。

それぞれの市の人口を一万の位まで

のがい数にしてグラフに表し，わかる

ることをよみとろう。

|  |  |
| --- | --- |
| 長野県の主な市の人口(人) | |
| 市 | 人口(人) |
| 長野市 | ３８１１１４ |
| 松本市 | ２２８４６１ |
| 上田市 | １６３６５１ |
| 飯田市 | １０６５９２ |
| 安曇野市 | ９９６２９ |

＜本時の展開に当たっての留意点＞

・棒グラフに表す際には， 1目盛りは何kgを表しているのかに着目させる場を設け，与えられた数量をさらに概数で表すことを考えさせる。

・定着・活用問題では，グラフ用紙を提示し，そのグラフ用紙の大きさに合わせるように，自分で目盛りを設定する場面を仕組むことも考えられる。

【板書計画】